昭和25年8月24日 第3種郵便物認可 平成28年7月10日発行（毎月1回10日発行）第72巻7号 通巻第844号
CODEN:SENGA 5 ISSN 0037-9875
http://www.fiber.or.jp/

Sen'i Gakkaishi
(Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

繊維学会誌

特集〈東京工業大学の繊維・高分子研究〉

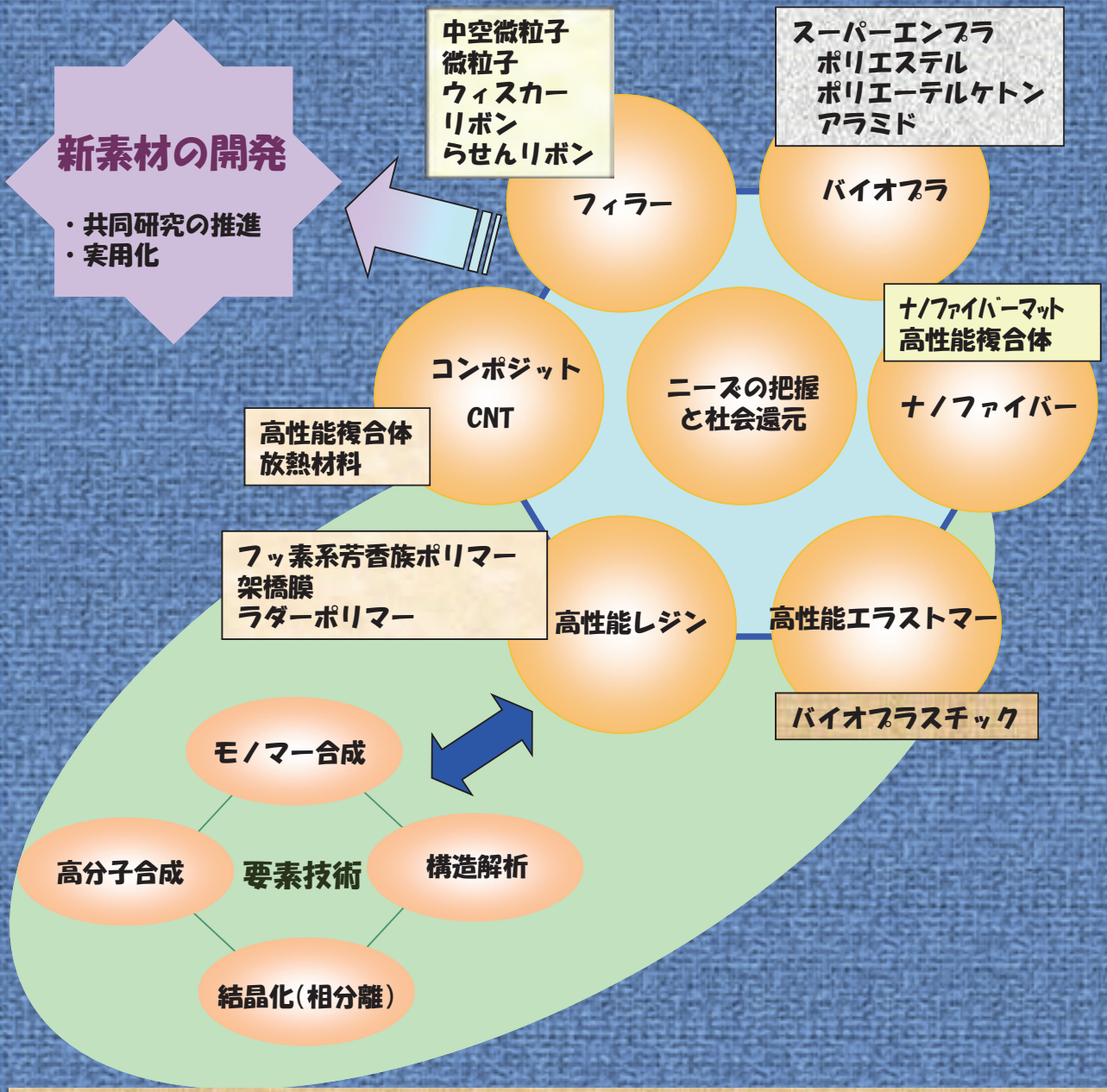
2016 Vol.72 7
一般社団法人　繊維学会

岡山大学高分子系新素材研究グループ

持続的資源循環型社会へ資する高性能芳香族高分子材料の開発

持続可能な資源循環型社会の構築を目指し、再生可能な非可食性バイオマスを原料とした高性能芳香族高分子材料を開発します。さらに，これまで困難であった高性能芳香族高分子のナノファイバー化を、自己組織化（結晶化）を利用した独自の作製法で確立します。両研究の相乗効果により、究極の資源利用効率化社会を目指します。

キーワード：高性能高分子，バイオプラ，コンポジット，ナノファイバー，高次構造



自然科学研究科 応用化学専攻 高分子材料学研究室，環境生命科学研究科 環境科学専攻 環境高分子材料学研究室
http://achem.okayama-u.ac.jp/polymer/　　http://www.ecm.okayama-u.ac.jp/polymer/
連絡先：岡山大学　内田哲也　TEL：086-251-8103　E-mail：tuchida@cc.okayama-u.ac.jp

GIFU UNIVERSITY

学部：工学部＆応用生物科学部
大学院：工学研究科＆応用生物科学研究科・連合農学研究科

繊維関連の講座を持つ学科	化学・生命工学科	機械工学科	応用生命科学課程
大学院博士前期課程	機能材料工学専攻・応用化学専攻・機械システム工学専攻・応用生命科学専攻		
大学院博士後期課程	物質工学専攻・生産開発システム工学専攻・生物資源科学専攻		
付属施設 プロジェクト研究センター	次世代金型技術研究センター　Tel: 058-293-2495		

☆技術相談等のお問い合わせは岐阜大学研究推進・社会連携機構　産学連携部門窓口までお気軽にどうぞ！

〒501-1193　岐阜市柳戸 1-1　Tel: 058-293-2025　E-mail: orchid@gifu-u.ac.jp

岐阜大学ホームページURL　http://www.gifu-u.ac.jp/

Bemberg®
Cupro fiber
やさしく。
舞うように。
なめらかで。
艶やか。
すべての瞬間に、上質な心地よさを。
旭化成のせんい、キュプラ ベンベルグ®
It feels so precious.
AsahiKASEI

最新刊　**合成繊維新紡糸技術の必携書！！**

溶融紡糸の原点

「Nylon」新紡糸技術の誕生と足跡

● 著 者：小 野　輝 道
（元 東レ㈱ 専務取締役 技術センター所長）

● 発 行：株式会社 繊 維 社 企画出版
https : //www.sen-i.co.jp
● A5判　160ページ　カバー巻き
● 販 価　2,900円
（本体2,500円+税200円+送料200円）

繊維学会誌 連載記事を単行本化！！

鞠谷 雄士 先生「発刊に寄せて」より
（一般社団法人 繊維学会 会長）

……『溶融紡糸の原点』と題する本書は，この合成繊維を溶融紡糸して繊維化する技術の開発経緯を克明に論じたものであり，1930年代の米国におけるDuPont社によるナイロン66繊維「nylon」の開発（第1章），これを追う形で行われたドイツにおけるI.G.社によるナイロン6繊維「Perlon」の開発（第2章），そして終戦直後の日本における東レによるナイロン6繊維「Amilan」の開発と事業化（第3章）から構成されている。

著者の小野輝道氏は1949年に東レに入社され，その後20年間，ナイロン6の開発に携わられた。本書は，溶融紡糸による繊維製造技術開発の歴史を紐解くところに主眼が置かれているが，現場を隅から隅まで知り尽くした者だけが把握することのできる技術の細部が，原特許の図面，豊富な写真資料などとともに記述されており，長年，溶融紡糸を自身の研究テーマとしている私にとっては，その内容の迫力に圧倒される思いである。そして，資料集めの経緯・苦労話から，貴重な情報が国内のみならず国際的な人と人とのつながりにより同氏の元に集約されたことを知り，大いに感服した次第である。……

……本書は，少しでも溶融紡糸技術に係わったことのある方にとって必携の書であることはいうまでもないが，繊維に係わりのある方，繊維材料に興味を持たれている方，さらには，技術的な詳細はともかく合成繊維の開発・工業化という歴史的偉業がどのような経緯でなされたかに関心がある方にとっても，本当におもしろい本であると太鼓判を押すことができる。

本書の内容

・「溶融紡糸の原点」発刊に寄せて
……鞠谷　雄士
（一般社団法人 繊維学会 会長）

はじめに

第1章　DuPont社（U.S.A）
1.1　DuPont社のFundamental ResearchとW.H.Carothers
1.2　Carothers、DuPont社へ入社
1.3　Serendipity
1.4　Polyamideへの挑戦
1.5　Nylon糸の開発へ
1.5.1　序
1.5.2　開発の経過
(1) 中間体
(2) Polymer
(3) 製　糸
1) 実施例1からの抜粋
2) N_2ガスのO_2含量（content）
3) #2 spinner
4) Sand Filter
5) Fiber WとBristle
6) ローソク紡糸機
7) Glass Melter
8) 用途開発とPilot Plant
9) Flat Coil Melt Gridの登場
10) Steam Conditioner
1.5.3　ヴェールを脱ぐNylon
補　遺
(1) Nylon yarn“A”Bonus（1941年6月11日、C. H. Greenewalt）について
(2) ポンプと口金
(3) Nylon Yarn開発Project発足（1935年央）以後のW. H. Carothers
1.6　結　び

第2章　「Perlon」の開発（ドイツのpolyamide繊維）
2.1　「Perlon」の誕生
2.1.1　序
2.1.2　Nylonの誕生と「Perlon」のcatch up
2.1.3　VK法の誕生とMO処理
2.2　ドイツにおけるNylon繊維事業
2.3　総　括
補　遺

第3章　「Amilan」の開発（日本のpolyamide繊維）
3.1　序
3.2　戦時中のNylon研究
3.3　戦後のNylon開発の再開
3.4　Nylon繊維生産の開始（滋賀第3工場）
(1) 紡糸機
(2) MO抽出
(3) 延　伸
3.5　新工場の建設へ
3.6　愛知工場の生産プロセス（1951～1959）
3.6.1　紡　糸
(1) 原料チップ
(2) 紡糸用チップ（高周波乾燥）
(3) 紡糸機
3.6.2　水　洗
3.6.3　延伸以降
補　遺
(1) 統計的手法
(2) 測定技術（特徴のあるものをピックアップ）
(3) nylonの潜在能力の発掘
(4) その他
後　記
おわりに　　索　引

HP リニューアル　**繊維技術データベース開始しました!!**
迅速・安価 ― 入門・教育用に、新商品・新技術開発にご活用下さい。

● お申し込みは ― 電話／HP／E-mailで
株式会社 繊 維 社 企画出版
〒541-0056
大阪市中央区久太郎町1－9－29（東本町ビル5F）
Tel.（06）6251-3973　Fax.（06）6263-1899
E-mail : info@sen-i.co.jp　https : //www.sen-i.co.jp

繊 維 学 会 誌

平成 28 年 7 月　第 72 巻　第 7 号　通巻　第 844 号

目　次

時　評　有機材料加工研究における技術者・研究者の育成　伊藤　浩志　P-325

特　集　**〈東京工業大学の繊維・高分子研究〉**　P-326

鞠谷　雄士・難波江裕太・柿本　雅明・手塚　育志・大塚　英幸・後関　頼太・道信　剛志
芹澤　　武・澤田　敏樹・芦沢　　実・川内　　進・松本　英俊・久保山敬一・扇澤　敏明
浅井　茂雄・赤坂　修一・戸木田雅利・ザメンゴ　マッシミリアーノ・森川　淳子・塩谷　正俊
宝田　　亘

繊維学会創立70周年記念連載　**〈技術が支えた日本の繊維産業ー生産・販売・商品開発の歩みー34〉**

繊維産地の盛衰(4)　松下　義弘　P-350

海外ニュースレター　P-357

議事録　一般社団法人 繊維学会平成 28 年度通常総会報告　P-359

ページ数の前の P-は JFST 誌と繊維学会誌を区別するために入っている記号ですので、本誌引用時はこの記号も含めた表記でお願いします。

Journal of The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 72, No. 7 (July 2017)

Contents

Foreword

Respect and Employment for Engineers and Researchers via Research of Organic Materials and Its Processing — Hiroshi ITO — P-325

Fiber and Polymer Researches in Tokyo Institute of Technology — P-326

Takeshi KIKUTANI, Yuta NABAE, Masaaki KAKIMOTO, Yasuyuki TEZUKA, Hideyuki OTSUKA, Raita GOSEKI, Tsuyoshi MICHINOBU, Takeshi SERIZAWA, Toshiki SAWADA, Minoru ASHIZAWA, Susumu KAWAUCHI, Hidetoshi MATSUMOTO, Keiichi KUBOYAMA, Toshiaki OUGIZAWA, Shigeo ASAI, Shuichi AKASAKA, Masatoshi TOKITA, Massimiliano ZAMENGO, Junko MORIKAWA, Masatoshi SHIOYA, Wataru TAKARADA

Series of Historical Reviews of Japanese Textile Industry Supported by the Technology

—History of the Production, Sales, and Product Development—34

Rise and Fall of Textile-Producing Regions (4) — Yoshihiro MATSUSHITA — P-350

Foreign News Letter — P-357

Minutes

Report of an Ordinary General Meeting (2016) — P-359

For citation of this journal, please include mark "P-" before the page numbers.

会告
2016

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 72, No. 7 (July 2016)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
28. 7. 19(火)～21(木)	**平成 28 年度　第 46 回繊維学会夏季セミナー「20 年後の繊維産業に向けて」(福井市・福井県民ホール、福井市交流プラザ、福井駅西口再開発ビル)**	A3～4
9. 20(火)21(水)	**平成 28 年度繊維学会秋季研究発表会**(米沢市・山形大学　米沢キャンパス)	A5～6
8. 5(金)	第 55 回公開講演会(大阪市・大阪産業創造館)	A7
8. 22(月)23(火)	2016 年度 JCOM 若手シンポジウム(下関市・幕張メッセ下関)	A7
9. 13(火)	第 69 回 WIN 定例講演会・第 24 回人間情報学会講演会　WIN・中野 ICTCO 連絡講演会「AI がもたらす近未来社会」(東京都・東京大学　山上会館)	A7
9. 28(水)～30(金)	第 52 回熱測定討論会(徳島市・徳島大学　常三島キャンパス)	A7
9. 28(水)～30(金)	第 25 回日本睡眠環境学会学術大会　睡眠環境学の新たな地平を開く～基礎から応用への知見～(足利市・足利市民会館　別館ホール)	A7
10. 5(水)～ 7(金)	第 59 回 2016 年紙パルプ技術協会年次大会～脱皮と進化で環境変化に強い業界へ…創造的・革新的技術を求めて～(高松市・サンメッセ香川)	A8
10. 19(水)～21(金)	第 66 回ネットワークポリマー講演討論会(千葉市・千葉大学　けやき会館)	A8
10. 14(金)	第 228 回　ゴム技術シンポジウム「加工工程の安定化と品質向上」～成形加工における発生トラブル対策～(名古屋市・今池ガスビル 7 階　ダイヤモンドルーム)	A8
10. 25(火)～28(金)	IRC2016　Kitakyushu「ゴム・エラストマー技術展」～未来へつなげるイノベーション～(北九州市・西日本総合展示場　新館)	A8
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年 6 月号
	繊維学会定款(平成24年 4 月 1 日改訂)	平成24年 3 月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年 1 月 1 日改訂)	平成26年 1 月号
	訂正・変更届用紙	平成26年 3 月号

「繊維学会誌」編集委員

編集委員長　土田　亮(岐阜大学)
編集副委員長　裳谷　要(和洋女子大院)　出口　潤子(旭化成せんい㈱)
編集委員　植野　彰文(KBセーレン㈱)　大島　直久(東海染工㈱)　金　翼水(信州大学)　小寺　芳伸(三菱レイヨン㈱)
澤田　和也(大阪成蹊短期大学)　髙﨑　緑(京都工芸繊維大院)　田村　篤男(帝人㈱)　寺本　喜彦(東洋紡㈱)
西田　幸次(京都大学化学研究所)　西村　高明(王子ホールディングス㈱)　増田　正人(東レ㈱)　村上　泰(信州大学)
吉田　耕二(ユニチカトレーディング㈱)
顧問　浦川　宏(京都工芸繊維大院)

平成28年度繊維学会主要行事予定

行　　事　　名	開　　催　　日	開　催　場　所
第 46 回夏季セミナー	平成28年 7 月19日㈫～21日㈭	福井市 福井県県民ホール「アオッサ」
平成 28 年度　秋季研究発表会	平成28年 9 月20日㈫、21日㈬	山形大学工学部（米沢市）

平成 28・29 年度繊維学会　支部一覧（平成 28 年 7 月 1 日現在）

支部名	支部長名	所　　在　　地	TEL & E-mail
東北・北海道支部	伊藤　浩志	〒992-8510 山形県米沢市城南 4-3-16 山形大学大学院　有機材料システム研究科	0236-26-3081 ihiroshi@yz.yamagata-u.ac.jp
関　東　支　部	岩田　忠久	〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学大学院　農学生命科学研究科	03-5841-5266 atiwata@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp
東　海　支　部	仲井　朝美	〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学　工学部　機械工学科	058-293-2400 nakai@gifu-u.ac.jp
北　陸　支　部	末　信一朗	〒910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学大学院　工学研究科	0776-27-8914 suyeb10@u-fukui.ac.jp
関　西　支　部	浦川　　宏	〒606-8585 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町 1 京都工芸繊維大学　繊維学系	075-724-7567 urakawa@kit.jp
西　部　支　部	田中　敬二	〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学大学院　工学研究院　応用化学部門	092-802-2878 k-tanaka@cstf.kyushu-u.ac.jp

繊維学会論文誌“Journal of Fiber Science and Technology”のオープンアクセス化と著作権の取り扱いについて

繊維学会では今般の学会誌の刷新に伴い論文誌を Journal of Fiber Science and Technology（JFST）としてリニューアル致しました。これに伴いより積極的な情報発信を指向し、どなたでも閲覧できるオープンアクセス方式に切り換えております。ここで我々が使用したオープンアクセスの解釈は狭義にはフリーアクセスとされる「閲覧自由」という理解であり、二次利用まで開放するという意味ではありません。

現在、オープンアクセスにおける著作権譲渡の取り扱いおよび公開情報の二次利用については、Creative Commons 準拠等の活発な議論が行われております。

本学会でも常に時代に対応したルールによる運用を目指して、この問題を慎重に検討しておりますが、Creative Commons の普及状況等を考慮すると、現在は中長期的判断の非常に難しいタイミングであると考えています。

従って、当面本学会ではこれまで通り著者様から著作権譲渡を頂き、掲載内容の二次利用については著作権保護の立場から一般社団法人学術著作権協会に著作権管理および利用許諾業務を委託して参ります。

各位におかれましては JFST 掲載の著作物をご使用頂く場合は、この点をご理解いただき適切にご対応頂きますようお願い申し上げます。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052　東京都港区赤坂 9-6-41　乃木坂ビル
（一社）学術著作権協会
TEL : 03-3475-5618、FAX : 03-3475-5619
E-mail : info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone：1-978-750-8400　FAX：1-978-646-8600

平成 28 年度　第 46 回繊維学会夏季セミナー
「20 年後の繊維産業に向けて」

趣　旨：本年度の夏季セミナーは北陸支部で担当し、「20 年後の繊維産業に向けて」と題して、福井駅周辺の 3 施設を利用し開催いたします。本セミナーを繊維産業の集積地である北陸で開催するにあたって、現状を打破しさらに未来へと続く将来の繊維ビジョンについて皆様に考えていただくことを目的としています。1 日目の特別講演では、原子力や環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉という今後の日本社会に影響する話題を講演していただきます。2 日目以降は、繊維産業の継続的な発展のために、e-テキスタイル、繊維強化複合材料、織編技術、染色、機能加工、バイオミメティクスおよびロジスティクスに関して最新研究や事例紹介をしていただきます。1 日目夕刻の懇親会に加えて、二日目夕方にも繊維学会恒例のワインパーティーを催します。講師の先生、参加者、実行委員と交流し、新たなネットワークを形成する機会としてご利用ください。最終日の午後には、支部内にある企業を見学するエクスカーションも企画しています。

日　時：平成 28 年 7 月 19 日㈫～21 日㈭

場　所：福井県民ホール、福井市交流プラザ、福井駅西口再開発ビル
〒910-0858　福井市手寄 1 丁目 4 番 1 号、〒910-0006　福井市中央 1 丁目 2 番 1 号
http : //kenminhall-fukui.jp/aboutstyle/、http : //www.kouryu.fukui.jp/、http : //www.happiring.com/

交　通：JR 福井駅から徒歩 1 分

定　員：300 名

プログラム：

	時　間	プ　ロ　グ　ラ　ム
第 1 日目 (7/19)	12 : 00	受付開始(福井県民ホール)
	13 : 30～14 : 30	【特別講演 1】繊維と放射線の関わり　～原子力から見た繊維～ 福井大学付属国際原子力工学研究所　泉　佳伸
	14 : 30～15 : 30	【特別講演 2】福井の恐竜～発掘と恐竜博物館～ 福井県恐竜博物館　野田芳和
	15 : 30～16 : 00	休　　憩
	16 : 00～17 : 00	【特別講演 3】TPP と日本繊維産業(仮題) 日本化学繊維協会　鍵山博哉
	18 : 00～20 : 00	懇親会(フクイパレスホテル)

		e- テキスタイル	繊維強化複合材料＆織編技術
第 2 日目 (7/20)	9 : 15～10 : 00	A-1)　太陽光発電テキスタイルの開発 福井県工業技術センター　増田敦士	B-1)　炭素繊維のこれまでの発展と今後の展望 いしかわ炭素繊維クラスター　西原正浩
	10 : 00～10 : 45	A-2)　スポーツにおけるウエアラブルの現状 ～パーソナルユースとチームユース～ ㈱ゴールドウイン　中村研二	B-2)　自動車用分野における CFRP の将来性を考える ㈱本田技術研究所　漆山雄太
	10 : 45～11 : 15	休　　憩	
	11 : 15～12 : 00	A-3)　スマートテキスタイル用のエレクトロニクス部材 東京大学　伊藤寿浩	B-3)　製織技術の昨日・今日・明日 金沢大学　喜成年泰
	12 : 00～13 : 30	昼　　食	
	13 : 30～14 : 15	A-4)　導電性高分子を用いた有機太陽電池の最新動向 京都大学　大北英生	B-4)　衣料から医療へ メディカル製品開発への挑戦(仮) 福井経編興業㈱　髙木義秀
	14 : 15～15 : 00	染色・機能加工	メディカル＆センシング
		A-5)　高分子界面の基礎と材料への展開 九州大学　田中敬二	B-5)　臨床が求める材料の特性－フィブロインとポリエチレンを例として－ 京都大学　富田直秀
	15 : 00～15 : 30	コーヒーブレイク	
	15 : 30～16 : 15	A-6)　非フッ素系撥水加工剤に関して 日華化学㈱　竹内斉久	B-6)　タンパク質固定化法の開発とバイオセンシングへの応用 広島大学　池田　丈
	16 : 15～17 : 00	A-7)　バイオベースマテリアルを用いた染色 －その良い点と解決すべき課題－ 京都工芸繊維大学　安永秀計	B-7)　包装材料とロジスティックス関連(仮) －物流におけるトレーサビリティ－ ㈱カネカ　千波　誠
		移　　動	
	17 : 30～19 : 00	ポスターセッション＆ワインパーティー(ハピリン)	

		機能加工＆ナノファイバー	バイオミメティクス
第3日目 (7/21)	9:15～10:00	A-8) 最近の車輌内装材－当社の差別化素材－　セーレン㈱　山田和則	B-8) 新世代バイオ素材､実用化への挑戦 Spiber㈱　佐藤健大
	10:00～10:45	A-9) 毛髪改質技術の開発 －繊維の後処理加工の一例として－ 花王㈱　大角高広	B-9) カイコの糸作りに関する総合考察：アロメトリー解析、高強度化､代謝ストレスの影響 群馬大学　河原　豊
	10:45～11:15	休　憩	
	11:15～12:00	A-10) ポリビニルアルコールを用いた機能性ナノ繊維の開発 福井大学　中根幸治	B-10) 昆虫に学べ！モスアイ型高機能フィルム 三菱レイヨン㈱　魚津吉弘
	12:00～12:30	閉会・ポスター賞表彰	
	13:00～17:00	エクスカーション 会社見学(小松精練㈱ファブリック・ラボラトリー[fa-bo(ファーボ)])	

参 加 費：

	個人会員	維持・賛助会員	一　般
大学・官公庁	25,000円	25,000円	28,000円
企　業	35,000円	35,000円	38,000円
学　生	8,000円	－	10,000円

懇親会費：大学・官公庁・企業　7,000円　学生3,000円
会場：福井パレスホテル
懇親会参加申込み方法：締め切りが過ぎていますが、当日も会場にて参加を受け付けます。
参加費振込先：参加費は現金書留又は、銀行振込みでお支払いください。
*振込手数料は振込人にてご負担ください。
現金書留または銀行の控えをもって、本会からの領収書に代えさせていただきます。
現金書留郵送先：〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-209　繊維学会事務局　宛
銀行口座：三菱東京UFJ銀行目黒駅前支店普通口座　4287837 一般社団法人繊維学会
エクスカーション　小松精練㈱ファブリック・ラボラトリー[fa-bo(ファーボ)]見学
日　時：7月21日㈭　13:00～16:30
定　員：40名程度
参加費：3,000円(貸切バス移動を含む)
*参加費は、当日現地にてお支払いください。
13:00　福井駅出発
14:00～15:30　小松精練㈱ファブリック・ラボラトリー[fa-bo(ファーボ)]見学
小松駅と小松空港を経由
17:00　福井駅到着(予定)
*定員になり次第、締め切らせていただきます。
なお、あたらしい開発のアイディアなども多数あるため、同業他社の方の参加申し込みについてはお断りすることもございます。
問い合わせ先：〒141-0021　東京都品川区上大崎3-3-9-208　一般社団法人繊維学会　夏季セミナー係
TEL:03-3441-5627　FAX:03-3441-3260　E-mail:summer2015@fiber.or.jp
HP: http://www.fiber.or.jp/jpn/events/2016/summer/index.html

実行委員会
実行委員長：久田研次(福井大院工)
副実行委員長：末　信一朗(福井大院工)、野村正和(セーレン㈱)
実行委員：青山雅俊(東レ㈱)、秋田祥一(旭化成㈱)、浅井華子(福井大院工)、穴田　雅(津田駒工業㈱)、入江　聡(福井大院工)、岩下美和(福井県工技セ)、植松英之(福井大院工)、魚住幸之助(小松精練㈱)、勝野晴孝(日清紡テキスタイル㈱)、喜成年泰(金沢大院理工)、木水　貢(石川工試)、九曜英雄(富山県工技セ)、坂　渉(花王㈱)、坂元博昭(福井大テニュア)、佐々木隆(福井大院工)、島田直樹(福井大院工)、杉原伸治(福井大院工)、鈴木　悠(福井大テニュア)、武野明義(岐阜大工)、田中　穣(福井大院工)、田上秀一(福井大院工)、道券恭平(サカイオーベックス㈱)、中根幸治(福井大院工)、中村知基(帝人㈱)、西村浩和(東洋紡㈱)、橋本　保(福井大院工)、服部由美子(福井大教)、廣垣和正(福井大院工)、藤田　聡(福井大院工)、前田　寧(福井大院工)、村上哲彦(福井県工技セ)、森　貴郁(KBセーレン㈱)、山本　洋(三菱レイヨン㈱)、若子倫菜(金沢大院理工)
顧　問：堀　照夫(福井大産学官)、宮﨑孝司(福井大)
事務局：野々村弘人、山本恵美

平成 28 年度繊維学会秋季研究発表会
研究発表会・ポスター発表参加募集および参加要領

1. 主　催：繊維学会

2. 日　時：平成 28 年 9 月 20 日㈫、21 日㈬　2 日間
（ポスター発表は第 53 回染色化学討論会と合同）

3. 場　所：山形大学　米沢キャンパス
（〒992-8510　山形県米沢市城南 4-3-16）
JR 米沢駅より市民バスで 20 分、タクシーで 15 分。車での来場はご遠慮ください（交通案内の詳細は以下のページをご覧ください）。
http : //www2.yz.yamagata-u.ac.jp/access/

4. 特別講演

「ものづくり」そして「ことづくり」

オリエンタルカーペット㈱代表取締役社長　渡辺博明

「構造タンパク質による素材革命」

Spiber ㈱　菅原潤一

5. 研究発表会

下記のセッションを予定しています。

1. 繊維・高分子材料の創製
2. 繊維・高分子材料の機能（オプティクス・フォトニクス、接着・界面/表面機能）
3. 繊維・高分子材料の物理・ソフトマテリアルの物理
4. 成形・加工・紡糸　（ナノファイバー、繊維・フィルム、複合材料・多孔体）
5. 天然繊維・生体高分子（紙・パルプ、天然材料・ナノファイバー、バイオポリマー、生分解性材料）
6. バイオ・メディカルマテリアル
7. テキスタイルサイエンス

6. ポスター発表

発表者と参加者の活発な議論による所属や研究分野を超えた交流を推進するため、ポスター発表の場を設けています。

若手ポスターについては、優秀発表者へポスター賞を授与いたします。

7. 第 53 回染色化学討論会

主　催：繊維学会　染色研究委員会

日時・会場・懇親会は秋季研究発表会と同一です。ポスター発表は染色化学討論会と秋季研究発表会の合同で行ないます。染色化学討論会に参加ご希望の方は、繊維学会秋季研究発表会にご登録ください。染色化学討論会のみの参加ご希望の方にも繊維学会秋季研究発表会予稿集代が含まれます。染色化学討論会予稿集は討論会会場でお受け取りください。詳細は染色化学討論会のホームページをご覧ください。

8. 申し込み・原稿送付期限

・発表申し込み締切：平成 28 年 7 月 22 日㈮
・要旨原稿送付締切：平成 28 年 8 月 12 日㈮
・事前参加登録申し込み締切：平成 28 年 8 月 26 日㈮
＊発表申し込み、参加登録申し込みは、学会ホームページの研究発表申込方法に掲載しています。

9. 懇親会

9月20日㈫夕方「上杉城史苑」にて開催します。

詳細は秋季研究発表会のホームページをご覧ください。

10. 参加登録費・懇親会費

参加登録費：

	繊維学会　正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員 非会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録	8,000 円	15,000 円	3,000 円	6,000 円
参加登録	10,000 円	18,000 円	5,000 円	8,000 円

懇親会費：

	繊維学会　正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員 非会員	非会員	繊維学会 学生会員	学生非会員
事前登録	7,000 円	7,000 円	7,000 円	7,000 円
参加登録	8,000 円	8,000 円	8,000 円	8,000 円

注）1. 参加登録費には、学会予稿集1冊が含まれます。
2. 予稿集の事前送付はいたしませんので御了承ください。
3. 懇親会のみに参加される方は、懇親会費のみを御送金ください。

参加登録費、懇親会費の振込先

送金方法：
1. 現金書留：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208
   一般社団法人繊維学会 平成28年度繊維学会秋季研究発表会係
2. 銀行振込：三菱東京 UFJ 銀行 目黒駅前支店 普通口座 4287837
   (加入者名)一般社団法人繊維学会
3. 郵便振替：口座番号 00160-9-756624
   (加入者名)一般社団法人繊維学会秋季研究発表会

11. お問い合わせ先

本研究発表会に関してご不明な点がありましたら次のアドレスまでメールでお問い合わせください。

（山形大学　松葉　豪：gmatsuba@yz.yamagata-u.ac.jp）

平成28年度繊維学会秋季研究発表会実行委員会

実行委員長：伊藤浩志(山形大)

実行副委員長：西岡昭博(山形大学)、松葉　豪(山形大学)

実行委員：岡田修司(山形大学)、東原知哉(山形大学)、香田智則(山形大学)、杉本昌隆(山形大学)、前山勝也(山形大学)、宮田　剣(山形大学)、西辻祥太郎(山形大学)、福島和樹(山形大学)、浦木康光(北海道大学)、澤田英夫(弘前大学)、大石好行(岩手大学)、寺境光俊(秋田大学)、及川英俊(東北大学)、正田晋一郎(東北大学)、佐藤貴哉(鶴岡工業高等専門学校)、根本修克(日本大学)、井上真理(神戸大学)、松本英俊(東京工業大学)、宝田　亘(東京工業大学)、安永秀計(京都工芸繊維大学)、平田充弘(山形県工業技術センター)菅原潤一(Spiber)、神山統光(帝人)、坂　渉(花王)、青山雅俊(東レ)、村瀬浩貴(共立女子大)、山本　洋(三菱レイヨン)、田中次郎(クラレ)

第 55 回公開講演会

主　催：日本繊維技術士センター
日　時：平成 28 年 8 月 5 日㈮　13 : 30〜16 : 30
場　所：大阪産業創造館　5F　研修室 E
（大阪市中央区本町 1-4-5）
プログラム：
・燃料電池の開発の歴史と今後の展開
田島収技術士事務所　田島　収
・セルロースナノファイバーを用いた次世代電子デバイスの開発
大阪大学　産業科学研究所　能木雅也
問合せ先：日本繊維技術士センター（JTCC）本部
（大阪市中央区備後町 3-4-9
輸出繊維会館 6F）
TEL : 06-6484-6506
E-mail : jtcc@nifty.com

2016 年度　JCOM 若手シンポジウム 参加募集

主　催：日本材料学会
日　時：平成 28 年 8 月 22 日㈪〜23 日㈫
場　所：幕張メッセ下関
（山口県下関市豊前田町 3-3-1）
プログラム：特別講演、討論会
プログラムの詳細は、日本材料学会複合材料部門委員会ホームページにて案内しています。
問合せ先：（公社）日本材料学会「JCOM 若手シンポジウム」係
京都市左京区吉田泉殿町 1-101
TEL : 075-761-5325

第 69 回 WIN 定例講演会・ 第 24 回人間情報学会講演会
WIN・中野 ICTCO 連絡講演会 「AI がもたらす近未来社会」

主　催：特定非営利活動法人ウェアラブル環境情報ネット推進機構
共　催：人間情報学会・（一社）中野区産業振興推進機構（ICTCO）
日　時：平成 28 年 9 月 13 日㈫　14 : 00~17 : 00
場　所：東京大学　山上会館　2 階　大会議室
（文京区本郷 7-3-1）
プログラム：
・人工知能研究開発における日本の立ち位置のこれから
電気通信大学大学院情報理工学研究科　教授　栗原　聡
・愛から愛へ（AI から I へ）
東京大学名誉教授　近山　隆
・情報技術と社会
㈱矢野経済研究所　社長　水越　孝
・健康講和
赤門クリニック委員長　吉田たかよし
・WIN グループ活動報告
WIN 理事長　板生　清
問合せ先：NPO 法人 WIN 事務局/人間情報学事務局
（千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル 247）
TEL : 03-5252-7382
E-mail : admin@npowin.org

第 52 回熱測定討論会

主　催：日本熱測定学会
日　時：平成 28 年 9 月 28 日㈬〜30 日㈮
場　所：徳島大学　常三島キャンパス（徳島市三島町）
プログラム：詳細は討論会 HP の URL : http://ostwald.naruto-u.ac.jp/~jccta52/を参照ください。
問合せ先：日本熱測定学会事務局
（千代田区岩本町 1-6-7 宮沢ビル 601）
TEL : 03-5821-7120　FAX : 03-5821-7439
E-mail : netsu@mbd.nifty.com

第 25 回日本睡眠環境学会学術大会
睡眠環境学の新たな地平を開く 〜基礎から応用への知見〜

主　催：日本睡眠環境学会
日　時：平成 28 年 9 月 28 日㈬〜30 日㈮
場　所：足利市民会館　別館ホール
プログラム：ワークショップ（講演、事例報告、企業提案）、招待講演、パネルディスカッション
詳細は学会ホームページ http : //www.sse-japan.com/を参照ください。
問合せ先：第25回日本睡眠環境学会学術大会　事務局
栃木県足利市大前町 268　足利工業大学工学部　荒川研究室
TEL : 0284-62-0605（内線 279）
E-mail : 25jimukyoku@ml.see-japan.com

第 59 回 2016 年紙パルプ技術協会 年次大会
～脱皮と進化で環境変化に強い業界へ… 創造的・革新的技術を求めて～

主　催：紙パルプ技術協会
日　時：平成 28 年 10 月 5 日㈬～7 日㈮
場　所：サンメッセ香川（高松市林町 2217-1）
プログラム：展示会（約 60 社）、特別講演（2 件）、製紙関連講演（約 60 件）、懇親会等
詳細はホームページ http : //www.japantappi.org を参照ください。
問合せ先：紙パルプ協会（東京都中央区銀座 3-9-11 紙パルプ会館 11 階）
TEL : 03-3248-4841
E-mail : saji@japantappi.org

第 66 回ネットワークポリマー講演討論会

主　催：合成樹脂工業会
日　時：平成 28 年 10 月 19 日㈬～21 日㈮
場　所：千葉大学　けやき会館（千葉市稲毛区弥生 1-33）
プログラム：特定テーマ及び一般テーマの研究発表
詳細は合成樹脂工業会ホームページ http : //www.jtpia.jp/ネットワークポリマーホームページ http : //www.networkpolymer.jp/を参照ください。
問合せ先：合成樹脂工業協会 ネットワークポリマー講演討論会事務局
TEL : 03-5298-8003
E-mail : networkpolymer@jtpia.jp

第 228 回　ゴム技術シンポジウム 「加工工程の安定化と品質向上」
～成形加工における発生トラブル対策～

主　催：（一社）日本ゴム協会　研究部会　成形加工技術研究分科会
日　時：平成 28 年 10 月 14 日㈮　10 : 30~16 : 30
場　所：今池ガスビル 7 階　ダイヤモンドルーム（名古屋市千種区今池 1-8-8）
プログラム：講演 5 件
詳細はホームページ http : //www.seij.or.jp/を参照ください。
問合せ先：（一社）日本ゴム協会　（担当：小松）
E-mail : komatsu@srij.or.jp
港区元赤坂 1-5-26　東部ビル 1 階
TEL : 03-3401-2957

IRC2016 Kitakyushu 「ゴム・エラストマー技術展」
～未来へつなげるイノベーション～

主　催：（一社）日本ゴム協会
日　時：平成 28 年 10 月 25 日㈫～28 日㈮
場　所：西日本総合展示場　新館（北九州市小倉北区浅野 3-8-1）
プログラム：ゴム技術及び関連産業に関わる展示
詳細情報は http : //www.irc2016.com/japanese/をご覧ください。
問合せ先：2016 年国際ゴム技術会議　運営事務局
E-mail : irc2016@jtbcom.co.jp
TEL : 03-5657-0600　FAX : 03-5657-0631
㈱ JTB コミュニケーションデザイン内
港区芝 3-23-1
セレスティン芝三井ビルディング

京都女子大学専任教員募集要項

募集人員：家政学部生活造形学科教授（契約）教授または准教授で、且つ、大学院家政学研究科生活造形学専攻博士前期課程授業担当教員 1 名
専門分野：染色加工学、アパレル管理学
採用年月日：平成 29 年 4 月 1 日㈯
応募締め切り日：平成 28 年 9 月 13 日㈫
担当予定科目、応募資格、提出書類、選考方法、処遇などは京都女子大学 WEB サイトの採用情報をご覧ください。
問合せ先：京都女子大学　教務部学部事務課
TEL : 075-531-7045　FAX : 075-531-7216